## 支援機器等教材活用実践事例フォーマット

	実践年度・タイトル	令和(3)年度
		googleクラスルームを用いた宿題の割り当てと先取学習
授業について	教科名等	□国語 □社会 ☑算数/数学 □理科 □生活 □音楽 □図画工作/美術 □家庭/技術・家庭 □体育/保健体育□特別の教科 道徳 ☑外国語/外国語活動 □総合的な学習の時間 □特別活動 ☑自立活動 □各教科等を合わせた指導□その他の教科 ☑その他(生活・身辺自立・行動の切り替え) 教科の内容を取り扱いながらの自立活動
	単元·題材名	
	授業の目標	
	学力の3要素	□「知識及び技能」 □「思考力・判断力・表現力等」 ☑「主体的に学習に取り組む態度」
供の実	学校・学部・学年・人数	口通常の学級 ☑通級による指導 □特別支援学級 □特別支援学校
		□就学前 □小学生 ☑中学生 □高校生以降 □特定されない
		( )年 ( _ )人
	対象の障害	□視覚障害 □聴覚障害 □知的障害 □肢体不自由 □病弱·身体虚弱 □言語障害 □自閉症 □情緒障害 □LD(学習障害) ☑ADHD(注意欠陥/多動性障害) ☑その他
	子供の困難さ	□見ること □聞くこと □話すこと □読むこと □書くこと □動くこと □コミュニケーションをすること □気持ちを表現すること ☑落ち着くこと・集中すること □概念(時間、大きさ等)を理解すること □学習(計算、推論等)すること ☑その他
		行動制御の困難さ
いて 授業	活用の意図	Aコミュニケーション支援(□A1意思伝達支援 □A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(□B1情報入手支援 □B2機器操作支援 □B3時間支援) C学習支援(☑C1教科学習支援 □C2認知発達支援 □C3社会生活支援) D実態把握支援(□D1実態把握支援)
		googleクラスル―ムを使って,英語や算数の宿題を割り当て,先取り学習(予習)を行う. 先取学習により,生徒は授業を理解するための予備知識を得ることができ,また,生徒の授業参加への自信や意欲を高めることができる. googleクラスル―ムを使うことで,宿題の管理―準備をしたり,提出したりする,など―の負担を軽減し,成功体験を増やす(失敗体験を減らす)ことができる.
	使用した支援機器等教 材の名称と画像	①chormbook, ②google classroom(宿題はgoogle formにより作成)
	授業展開・支援の手立て	通常の学級の教科担当(英語, 数学)と連携して、授業の先取学習になるように、宿題の問題を設定する。
効果 ・ 評価	子供の様子や変容 および授業の評価	以前は、授業中、物を投げたり、壁をドンドンたたいたり、離席・退室してしまったりするなど、授業に参加できないことがしばしばあった。取組の結果、生徒は、先取学習の宿題を自分でやり終えることができるようになった。また、離席や退席をせず授業に参加できる時間が少しずつ増えてきた。